

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社牧野フライス製作所（証券コード:6135）

【変更】

長期発行体格付	BBB+	→	A-
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	BBB+	→	A-

■格付事由

- 工作機械の専業大手。主力であるマシニングセンタのほか、放電加工機やフライス盤なども手掛ける。高速・高精度・高剛性を兼ね備えたハイエンド製品に強みを有し、自動車、一般機械、プラスチック金型、航空機分野など、幅広い顧客と強固な取引関係を構築している。またユーザーの設備構想から納入・保全まで一括して手掛けるターンキーエンジニアリングにおいて豊富な実績を持つ。
- 近年進めてきた競争力の強化に向けた施策が奏功し、事業基盤の強化が進んでいる。足元の業績はコロナ禍からの回復基調を強めており、現状の受注残や受注状況なども考慮すると、当面も高水準の営業利益を維持可能と見られる。自己資本の増加などにより、需要変動に対する財務耐久力も向上した。今後も財務基盤の強化が進むと考えられる。以上より格付を1ノッチ引き上げた。格付の見通しは安定的である。
- 22/3期営業利益は113億円（前期は36億円の営業損失）と好転した。23/3期営業利益は144億円（前期比27.4%増）の見通し。原材料価格高騰の影響を受ける見込みだが、豊富な受注残の消化による増収効果などでカバーされると見られる。生産工程を自動化するターンキーエンジニアリングの需要は当面も旺盛と考えられる。今後も提案型の営業強化などによって収益基盤の強化を図ると見られ、進捗状況を確認していく。
- 直近10期程度の自己資本を見ると、13/3期末919億円から22/3期末1,778億円まで増加しており、業績変動に対する財務耐久力は向上した。また22/3期末自己資本比率は54.6%と良好な上、実質無借金状態にある。キャッシュフローの見通しや当面の設備投資計画から見れば、今後も黒字のフリーキャッシュフローを確保出来る見込みである。中期的にも財務体質の向上が進むと考えられる。

（担当）里川 武・外窪 祐作

■格付対象

発行体：株式会社牧野フライス製作所

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第7回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2016年9月1日	2026年9月1日	0.50%	A-
第8回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年7月23日	2025年7月23日	0.470%	A-
第9回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2020年3月2日	2027年3月2日	0.410%	A-
第10回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2020年3月2日	2030年3月1日	0.550%	A-

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年6月23日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「機械」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社牧野フライス製作所
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル